

令和8年産

仙台麦作情報

2026. 5. 8 第6号

宮城県仙台農業改良普及センター

Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk>

今後の栽培管理のポイント



○麦の成熟状態や子実水分をよく確認し、適期刈取りに努めましょう！

○子実水分をこまめに確認し、乾燥・調製を行いましょう！

1 気象経過（10月第1半旬～5月第1半旬、仙台アメダス）

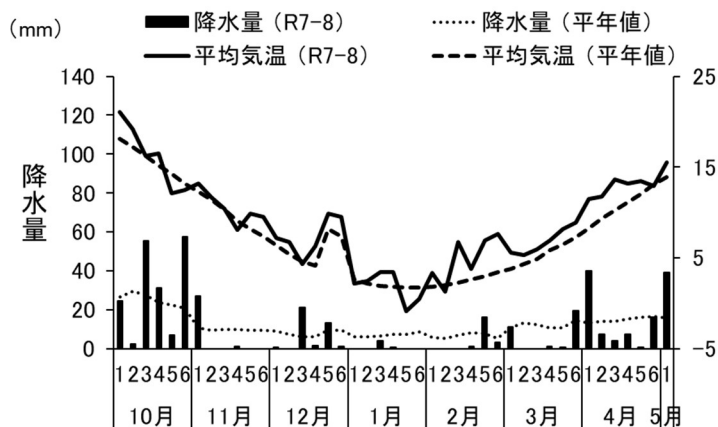


図1 半旬平均気温と降水量の推移

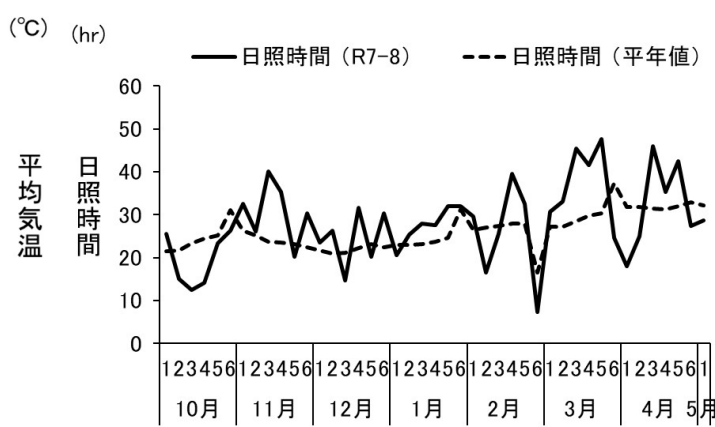


図2 半旬日照時間の推移

- ・気 温：4月以降も平年より高く推移しました。
- ・降 水 量：4月上旬、5月上旬は平年より多くなりました。
- ・日照時間：3月以降平年より多い傾向で推移しましたが、4月上旬は少なくなりました。

2 今後の栽培管理

大麦では5月下旬頃から刈取適期を迎えるほ場もある見込みです。
適宜ほ場を確認し、刈遅れないよう注意しましょう。

(1) 成熟期及び刈取り適期の目安

今後、気温は平年より高くなる見込みです。麦の収穫は収量や品質面を考慮して早刈りや刈遅れのないように適期に刈取る必要があるため、**早めにほ場で麦の状態を確認して、刈取りの準備を進めましょう。**

表1 調査ほ場（ホワイトファイバー）における刈取り時期の目安

ほ場	播種日			出穂期			成熟期予想 出穂期から 40~45日後	成熟期 (調査による実測値)		刈取適期予想*
	本年	前年(R7産)	平年	本年	前年(R7産)	平年	本年	前年(R7産)	平年	
仙台市 宮城野区	10月20日	10月14日	10月11日	4月17日	4月17日	4月15日	5月27日 ~6月1日	6月1日	5月29日	5月29日 ~6月3日
大和町 落合報恩寺	11月15日	11月13日	10月31日	4月24日	5月1日	4月22日	6月3日 ~6月8日	6月9日	6月2日	6月1日 ~6月6日

※平年値は3か年平均。

* 刈取適期は、子実水分30%以下の時期（成熟期から3日後頃）

【刈取りにおける注意点】

- ▷早刈りは、登熟不足や空洞麦発生による子実重、品質低下の原因となります。
- ▷刈遅れは、収穫ロス、発芽粒や退色粒の発生、大麦の白度低下による品質低下の原因となります。
- ▷収穫作業は、子実水分が30%以下（成熟期後3日頃）で実施することを心がけましょう。
- ・成熟期の穀粒水分は、概ね32~45%と幅があります。生育のバラツキが多いほ場の成熟期は、生育の正常な部分に焦点を合わせ判断しましょう。

表2 成熟期の麦の状態

外観の色	子実の色	子実の硬さ
茎葉・穂首が黄色になった頃	大麦：黄白色 小麦：褐色	・指で押さえて乳汁が出ない ・ロウ状の硬さ

- ▷穂発芽について
 - ・シュンライ：穂発芽しやすい
 - ・ホワイトファイバー：やや穂発芽しやすい
 - ・シラネコムギは穂発芽しにくい品種ではありますが、品質確保のため、適期刈取りに努めましょう。
- ▷赤かび病が発生しているほ場は、健全な子実への被害粒の混入を防ぐため、刈り分けをしましょう。

(2) 乾燥・調製

高温で急速に乾燥すると熱損粒が発生しやすく、特に小麦では品質が著しく低下します。

→高水分で収穫する場合は、子実水分が 30%以下になるまでは送風温度を 40℃くらいの低めにし、乾燥が進んでから通常の送風温度に調節しましょう。また、張り込み量は 6～7 割程度としましょう。

- 調製の目安 子実水分 大麦：13.0%以下、小麦：12.5%以下
- 送風温度：50～60℃ ○篩い目：2.4mm 以上

3 東北地方の向こう 1 か月の天候の見通し（5/7 仙台管区气象台発表）

【予報のポイント】

向こう 1 か月(5月 9 日～6月 8 日)	暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 か月の気温は高く、期間の前半はかなり高くなる見込みです。
1 週目 (5月 9 日～5月 15 日)	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。平均気温は高い確率が 50%です。
2 週目 (5月 16 日～5月 22 日)	天気は数日の周期で変わる予想で、平均気温は高い確率が 80%です。
3～4 週目 (5月 23 日～6月 5 日)	天気は数日の周期で変わる予想で、平均気温は高い確率が 50%です。

春の農作業安全確認運動 ～令和 8 年 3 月 1 日から 6 月 30 日まで～

農作業安全確認運動テーマ

『徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策』

県内における過去 10 か年の農作業死亡事故は、農業機械作業に係る事故が全体の約 8 割を占め、そのうちトラクターによるものが半数を超えます。

◎以下の対策を徹底しましょう。

【事故防止対策】

- ほ場周辺の危険箇所の確認・危険回避行動の実践
(危険箇所での減速、危険箇所の迂回ルートの設定など)
- 危険箇所の改善(道路端や曲がり角の草刈り、路肩の補強など)

【被害軽減対策】

- シートベルトとヘルメットの着用
- 安全キャブ・フレーム付きトラクターの利用



イラスト出典：農林水産省ホームページより抜粋 https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/enzen/kenshu.html